



会長あいさつ



石村 聖一郎(11期)

ほおづえ会が設立されて21年が経過しました。

1994年9月の設立総会には169人ものが参加しホテルの宴会場で盛大に開催されましたが、その後、年を重ねるごとに参加人数が減少し、2000年代に入ってから役員のみでの参加しかなく、会場も宴会場から会議室へ、さらに、2009年からは紀友祭の当日に高専で開催しております。

設立当時の会員数は約800名で、現在はその倍以上の会員が在籍しているにもかかわらず、なかなか参加していただくことができない状況です。

この状態をなんとかしたいと考えており、その前段として昨年末に久しぶりに懇親会を開催したところ、2期から36期の幅広い年齢層の方々が32名も参加していただき、参加していただいた皆さんからも好評を得たので今年の総会のはかつてのように、金沢市内で会場を借り、懇親会も開催しようと思えます。

今まで参加したことがない方も是非ご参加ください。

同じ石川高専の建築学科卒業生ということで、なかなか聞けない仕事の悩みや、今後の手助けになるきっかけがつかめるかもしれません。

卒業生の中には業界の最前線で活躍していらっしゃる方も多く、とても刺激になりますよ。

会費を納入していないので参加を躊躇されている方もいらっしゃるようですが、気にせず積極的にご参加ください。

会の運営、存続に会費も重要ですが、それよりも、今は活動を活性化させることの方が重要です。

大勢の方の御参加をお待ちしております。



ほおづえ会からのお知らせ



Facebookのお知らせ

現在Facebookにある、ほおづえ会のグループ(<https://www.facebook.com/groups/677037649002677/>)ですが、イベントのお知らせ等ご活用いただきありがとうございます。

また引き続きグループへの参加をお待しております。

同窓会にまさにつけてつけのFacebookですが、管理人の同級生は数人しか居ません。微妙にアナログ世代なのでしょう？反対に既に入っていたほおづえ会関係の方でも、拘束される感じが嫌だと、早々に見切りをつけて退会された人も見かけます。あまり流行のシステムに依存せず、本来のほおづえ会サイト(<http://hoozue.org>)を充実するようにしていく必要があると感じました。

HPについてのご不明な点、企画のアイディア、または活用のアドバイスなどありましたらE-Mail:office@hoozue.orgまでご連絡いただければ幸いです。

ほおづえ会総会、懇親会のお知らせ

日時：2015年11月頃

予定では総会18：00～、懇親会：19：00～
(懇親会だけの出席もOKです)

場所：金沢駅周辺

会費：5,000円程度

詳細は10月頃に決定し<https://www.facebook.com/groups/677037649002677/>に掲載致します。

まだ、日がありますので、出てみようかなと思われる方は、

- ・ Facebookのメッセージ(石村聖一郎宛)
- ・ メール：ishi@sei-archi.com
- ・ 電話：090-8704-1246
- ・ FAX：076-257-7783

までお願いします。

御連絡をいただいた方には受信の御返事をしますので、もし、返信がない場合は連絡を携帯電話にお願いします。

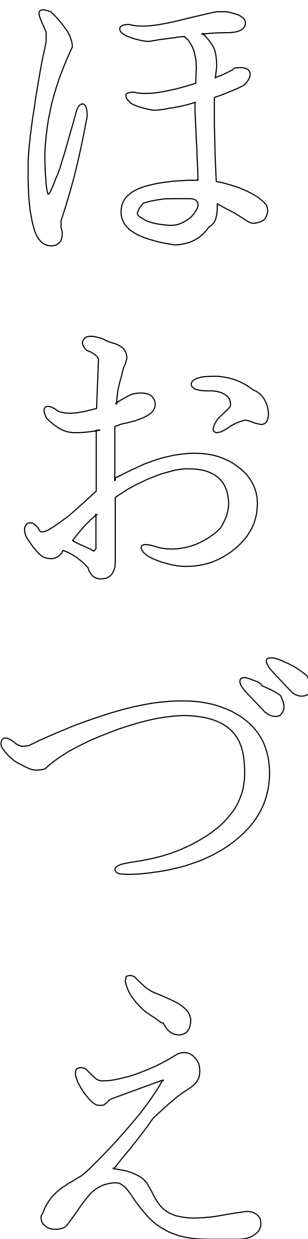
出席、欠席の連絡はあらためて10月頃に告知しますので、とりあえず、興味のある方は上記の連絡先にお知らせください。

もしくはFacebookに登録している方は<https://www.facebook.com/groups/677037649002677/>に登録(グループに参加)していただければ自動的に情報が入ります。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.23

<http://hoozue.org>



平成27年7月27日発行

- 企画編集／ほおづえ会
- 発行／ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局
(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)
〒929-0392
石川県河北郡津幡町北中条タ1
石川工業高等専門学校 建築学科(内田)

TEL / 076-288-8184

FAX / 076-288-8191



ほおづえ会 HP



Facebook グループ

石川高専は今秋創立50周年を迎えます。
なお建築学科は2020年に50周年を迎えます。



収 支 報 告



◎平成25年度 収支決算報告

(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

<収入の部>

・会費(正 3,000円×60名)	180,000
・会費(準 1,000円×199名)	199,000
・会費(卒業生 3,000円×37名(41名中))	111,000
・貯金利息	79
・前年度繰越金	1,640,800
合 計	2,130,879

<支出の部>

・学校補助金(ボウリング・テザコン参加補助)	200,000
・印刷費(会報, 払込書印字封筒等)	121,385
・通信費(会報送料等 80円×1,086通)	86,880
・事業費(HP維持費)	100,000
・慶弔費(櫛田名誉教授)	15,000
・雑費(振込手数料)	1,389
・次年度繰越金	1,588,225
合 計	2,130,879

◎平成25・26年度 事業報告

- ・会報 第22号 発行(平成25年12月)
- ・関東支部懇談会(東京:平成25年12月)
- ・オール女子会(金沢:平成26年1月)
- ・懇親会(金沢:平成26年11月)
- ・ホームページ更新、Facebookページの更新、充実

◎平成25・26年度 役員

会 長	石 村 聖一郎 (11 期)	
副 会 長	由 田 徹 (12 期)	新任
	家 山 真 (14 期)	
常任幹事	山 岸 学 (16 期)	HP担当
	村 田 一 也 (20 期)	郵送担当
	大 杉 建太郎 (29 期)	広報担当
	東 川 佳 世 (33 期)	
事 務 局	内 田 伸 (20 期)	会員住所管理、 学校窓口担当
会 計	中 川 恵 (13 期)	新任
会計監査	三 谷 創 (7 期)	

◎平成26年度 収支予算(案)

(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

<収入の部>

・会費(準 1,000円×200名)	200,000
・前年度繰越金	1,588,225
合 計	1,788,225

<支出の部>

・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費(会報, 払込書印字)	50,000
・通信費(会報送料等)	150,000
・事業費(企画)	100,000
・事業費(学校補助)	200,000
・慶弔費	50,000
・雑費、予備費	1,158,225
合 計	1,788,225

◎平成27年度 事業計画

- ・会報 第23号 発行(平成27年7月)
- ・総会、懇親会(平成27年11月)
- ・ホームページ更新、Facebookへの投稿など情報発信
その他、建築見学会、懇親会、インターンシップ協力、
学校授業、紀友祭に協力などを検討中

■会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成27年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

26年度会費は石川高専50周年の寄付と重なり、会員の負担を軽減するため、徴収はしないことになりました。

■住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿を発行しておりません。会報などの連絡・郵送のため会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが、下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡ください。

e-mail: utd@ishikawa-nct.ac.jp (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別となっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。



計 報



2014年9月24日 建築学科名誉教授 天野正治先生(79歳)には、頭書の日に御逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表しお知らせいたします。

天野正治先生の御略歴

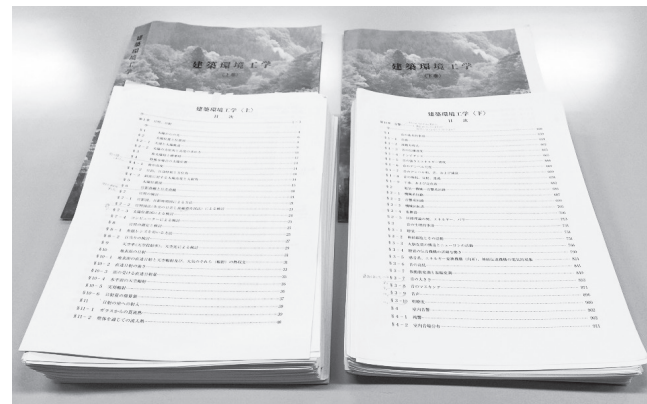
- 1935年1月1日生まれ
- 1958年4月 第一工業株式会社 勤務
- 1960年4月 大阪市立大学 勤務
- 1965年4月 大阪工業高等専門学校 勤務
- 1972年4月 金沢工業大学 勤務
- 1974年4月 石川工業高等専門学校 建築学科 勤務
- 1998年3月 石川工業高等専門学校 建築学科 定年退職

ものすごい量のプリント。天野先生の講義を受けた卒業生は、記憶にしっかりと残っていると思います。先生が講義の際に配布されていたあの講義資料は、定年退職後も更新されつづけ、テキストやグラフ、すべてがデジタル入力されました。そして晩年、先生におかれましては、本としてまとめるべく、建築環境工学/上下2巻として原稿を完成させようとしていました。自宅に残された原稿には、まだ付箋が何カ所もついており、表紙は3案あり、校正も最終段階であったことが伺えましたが、建築学科同窓会として、原稿が発見された状態、状況を補足の上、製本し、石川高専の図書館に寄贈することについて、奥様に提案させていただきました。現在、お預かりした原稿の製本、寄贈への準備を進めております。

タイトル 『建築環境工学』(上下2巻)

総ページ数 1,080ページ

(事務局担当:内田)



■オール女子会

田中 宮土理(21期)

1期生から全卒業生の女子を対象に、「オール女子会」と称して2014年1月に懇親会を開催し、あれから1年半ほど経ちました。当時、「高専を卒業した女子が集まったら、おもしろいんじゃないかな?」って思い付きSNSや知り



合いを通して声を掛けました。

(SNSやメールでしか連絡できず、情報が届かなかった皆様、ごめんなさい。)

当日は、29名が集合しました。

ゲストとして金木先生、村田先生、内田先生、石村先輩(ほおづえ会会長)をお招きしました。もちろん懇親会は大変盛り上がりしました!

女性同士、仕事や家庭の話から、学生の時の話まで幅広く、また学年を越えて話し合える気楽さがありました。女性同士こういう飲み会はなかなか無いのではないのでしょうか。

参加した皆様に簡単なアンケートをお願いしました。好評だったのは、自己紹介。仕事での取り組み方に影響をうけたり、学生時代の知らないネタを教えてもらったりで楽しかったというコメントがたくさんありました。

時間が足りず途中で終わったので、続きをして欲しいというコメントもありました。また、金木先生とお会いできてよかったとのコメントも多くいただきました。

女子会開催後、あちこちでFacebookでの繋がりがもできたよ

うです。私自身、後輩が増えました!仕事先でも声を掛けてもらうことができました。高専卒業というひとつの共通点で集まって、新しく繋がったり、また何かが始まったり・・・そんなことを考えていたので、あちこちでそういう繋がりが広がっていくと嬉しいです。

さて、2年ぶりにそろそろ次回どうでしょうか。企画情報 <https://www.facebook.com/ishizyo> にアップします。Facebook をしていない方は、midorinn5@gmail.comまでお知らせください。開催情報を送ります。新しい提案や、リクエストもお待ちしております。



■懇親会



2014年11月に懇親会を開催しました。

21期の田中さんの御尽力により女子会が成功したことをうけ、全会員を対象にした懇親会を開催しようと思い立ち、Facebookでお知らせするとともに、連絡の取れる方に直接お知らせをしたところ、2期から36期の幅広い年齢層の方々が32名も参加していただきました。

ほとんどの方が初対面だったと思うのですが、みなさんすくすくうち解けて、予想以上に盛り上がりました。

同じ建築学科を卒業してはいるものの、それぞれいろんな仕事をされていたり、共通の仕事をしている方もいらっしゃり、お互いに相談や意見を聞くことができ、大変有意義だったようです。

同窓会の活動に初めて参加された方も多く、参加する前は少々不安な気持ちもあつたようですが、参加してよかったとの御意見も頂きました。次回も是非、大勢の御参加をお待ちしております。

ー参加者の声ー

中宮 紘也(30期)

石川高専を卒業後、ほおづえ会の同窓会に初めて参加させていただきました。

当初、同年代の出席者がいなく、出席をためらっていましたが参加してよかった、が率直な感想です。

世代の偏りがなく、同じ学校の卒業生ということで親近感もあり、気楽に過ごせました。このような同窓会でしかお会いできないような人々と知り合えたことは財産ですし、また日々の活躍振りを聞かせてもらい、自身も精進せねばと思いました。

今後もこのような機会があれば参加させていただきたく思います。



棒田 恵(29期)

石川高専卒業後に新潟大学へ進学し、2014年9月までの11年6ヶ月間学生をしていました。新潟大学では、西村伸也教授の研究室に所属し、設計活動(同窓会館、保育所、私立高校、雁木など)、まちづくり活動(長岡市栃尾表町、三条市)に携わりながら、建築計画分野の研究(海外の集落、日本の町家と集落、中学校、まちづくり)を行ってきました。その間、オランダへの留学、設計事務所でのバイト、新潟大学職員、石川高専技術職員とさまざまな場所や職を転々としてきました。2014年2月より職業能力開発総合大学校の研究・教育職に就くことができました。

石川高専の技術職員として2013年9月から1月末まで、建築学科の先生方、学生のサポートをする機会があり、微力ながら設計製図などのお手伝いをさせていただきました。私の経験を通じて建築の楽しさ、面白さを学生に伝えるように努めてきました。教育の難しさや責任を学ぶことができた貴重な時間でした。

現在の職場である職業能力開発総合大学校(職業大)は、職業訓練校などで職業指導を行っていく指導員(先生)を育成する機関です。職業大では、学生への建築教育と共に学生や実務者の設計プロセスの研究を行っています。私にとって設計プロセスは新しい分野であり、教育者あるいは設計者として有益な経験をしています。研究を通して、建築デザインの方向性(設計テーマ、コンセプト)と技術的な解決法(建築意匠、計画、構造、構法、環境など)の間を行き来し、建築のかたちにしていく設計プロセスの重要性を再認識し、それらのバランスの難しさを学んでおります。振り返ると、これらの設計プロセスの基礎は、石川高専在学中に形成されていたように思います。

私は、これから研究と教育を行う職を本格的に歩みますが、石川高専で学んだ基礎を展開し、研究、まちづくり、教育などのかたちにして、積極的に社会へ還元していくことを考えております。

塚本 安優実(40期)

みなさま、こんにちは40期の塚本です。2014年3月に石川高専を卒業し、春から横浜国立大学に進学しました。

横国は通常の編入制度とは異なり2年次に編入します。前期の設計では伊勢神宮や前川國男邸などの図面トレース、代官山ヒルサイドテラスの1/100模型をクラス全員で制作する、など建築表現の基礎から始まりました。設計がたくて大学に入った私は、まさに“青菜に塩”状態。そんな私を面白がってなのか声がかかり、誘われるままに建築家の飯田善彦さん、隈研吾さんの事務所でもアルバイトを始めました。

特に飯田事務所は特殊で、事務所1階がブックカフェ、2階がオフィスになっているので両方を手伝っています。普段は落ち着いている1階は時々貸しスペースとして賑やかになり、ソプラノの歌声やピアノの音が上がってくる中で模型を作る、など奇妙な状況が出来上がったりする面白い事務所です。また飯田さんには2014年9月・夏休み明けに石川高専の3~4年生に向けて、「そでしかできない建築を考える」をテーマに自身の作品や活動を紹介するレクチャーをしていただくなど、大変お世話になりました。

私自身、高専を卒業してまだ時間は経っていませんが、新しい環境でまた一から建築の勉強を始めることに少しずつ慣れてきました。高専出身であることの強みを生かしながら、表現や思考を柔軟に展開していくことが今の目標です。まだまだ長い学生生活を楽しまたいと思います。

●石川高専退任のごあいさつ

金木 健(かねぎ たけし)

昭和49年度から平成24年度まで常勤として在職しておりましたが、平成27年3月で嘱託職からも退任しました。学生のみなさんといっしょに建築の勉強を続けてまいりましたが、時の流れは早くも過ぎ去りました。

高専はそのときどきの時代の要請に応じ、変化してきました。専攻科の設置・教育内容の保障・地域社会への貢献・学習意欲を高揚する企画・・・等々。その波のうねりに私はやっとのことについてきたという感じがします。それもいろいろな方々の支えがあったおかげと感謝しています。

今後はひと休みして好きな山登りや地域をめぐる旅をしたいと思っています。

私たちの町やすまいをめぐるには多くの問題があります。人口減少問題・持続可能な居住地の再編問題・環境資源保全問題・災害復興防災まちづくり問題等々・・・気にかかる課題はたくさんあり、建築にかかわる人びとにも大きな期待がかかっていると思います。

建築学科卒業生のみなさんが地域の建設業界で中心的な役割を担っていることはまことに喜ばしいことです。卒業生・教職員のみなさんのいっそうのご活躍とご多幸をお祈りします。



●1年間の活動記録

- 平成25年12月 職員玄関およびロータリー改修工事完了
- 平成26年01月 棒田恵技術職員 退職
- 平成26年03月 新規導入機材内覧会(建築学科には3次元CAD教育・研究支援設備、コンクリート圧縮・万能試験実験設備、複合環境調整実験設備)
- 平成26年04月 石野真奈美技術職員 着任
- 平成26年04月 「建築学科第23回ボウリング大会」(藤江レジャー)
- 平成26年07月 うちわデザインコンペ(体験入学用の初企画)
*最優秀賞は4A大伏くん 審査員は建築学科教員
- 平成26年08月 体験入学2日間実施/津幡駅前ロータリー改修工事完了
- 平成26年08月/09月 公開講座2つ継続実施
(みんなでデザイン/住宅模型)
- 平成26年09月 特別レクチャー 建築家・飯田善彦
- 平成26年09月/10月 石野真奈美技術職員退職
宮田桂技術職員着任
- 平成26年10月 津幡町どまんなかフェスタで間伐材家具抽選会
- 平成26年10月 第49回紀友祭およびオープン・カレッジ
- 平成26年11月 学生玄関およびボイラー室の改修完了
- 平成26年11月 41回石川県デザイン展で3作品が受賞
- 平成26年11月 3年1泊(愛知)/4年3泊(韓国ソウル)合宿研修
*建築学科の海外研修旅行は3度目。次年度より毎年全学科海外研修旅行に!
- 平成26年11月 「第24回ボウリング大会」開催(ジャンボボール)
- 平成27年02月 OB・OGによるキャリアデザイン講演会
「石川高専と私の歩み、そしてこれからの輝きへ」
- 平成27年03月 石渡 博先生、北田幸彦先生、定年退職
(今後2年 嘱託職)

●石川県デザイン展で受賞

「第41回石川県デザイン展」において、学生部門の第2部で部門最優秀賞にあたる金沢市教育委員会賞、ほか2作品が受賞しました。

- 【学生部門】金沢市教育委員会賞
加賀てまりオフィスビル ニーワンナート(3年)
- 【学生部門】第二部 銀賞 転楽四座
中根 諒、坂下梨乃、杉原季弥登、岸 克範、宮川佳子
(3年5名共同)
- 【学生部門】第一部 銅賞 住吉公園東屋プロジェクト
熊澤研究室 代表 吉田早織(AC2年)

●報告 デザイン・コンペティション2014inやつしろ(熊本高専)

第11回全国高専デザコン2014は、11月7日(金)～9日(日)にかけて熊本高専で開催されました。石川高専からは4部門で学内予選や一次審査を通過した作品が本選参加となり、空間デザイン部門で優秀賞を含む、計3作品が入賞しました。

今回のデザコンはメインテーマに「ささえる」を掲げ、空間デザイン・構造デザイン・環境デザインの3部門+3次元設計造形コンテストでアイデアやプレゼンテーションなどを競いました。



■空間デザイン部門 優秀賞

「94日間1%のはたらき」 指導教員：内田 伸
学生：倉ヶ谷 渚、中川和恵、谷 美咲、南 健斗
(5A4名共同)

■構造デザイン部門 審査員特別賞

「いいがんなつタワー」 指導教員：船戸慶輔
学生：坪野菜々子、白井陽希、稲元夏美、吉野崇生
(4A4名共同)

■環境デザイン部門 審査員特別賞

「潟と人を繋ぐ 内灘町役場前『観賞用池』を
『ちいさな河北潟』に」
学生：美作天地、川端隆太、酒谷達矢、隅田知樹、
永井ありさ他2名(AC1年7名共同)
指導教員：環境都市工学科 高野典礼

今年の開催場所は和歌山高専(和歌山県)でテーマは「ささえる」です。